

2008 年度事業

主催事業

フォーラム「川上不白が発信するもの

～熊野からのまなざし・江戸からのまなざし」

江戸千家宗家蓮華庵川上紹雪氏のほか江戸文化、茶道研究者をパネリストに迎えて新宮市の新宮商工会議所を会場に講演とパネルディスカッションを開催した。観光や和菓子業界との連携、まちづくりに生かすことを目的に 2008 年 11 月 25 日（土）開催。

後援事業

表千家音無会による「川上不白を偲ぶ茶会」を共催

地元の茶道表千家音無会が開催した茶会を後援。音無会の茶会は 2007 年 12 月に次いで 2 回目で、新宮市における秋の茶会になりつつあり、菓子組合の「菓子まつり」が連動して和の文化を発信した。

「時代小説から読み解く江戸と新宮」

新宮の文化を考えることを目的に時代小説界の人気作家で直木賞作家山本一力氏を招いて新宮ライオンズクラブが 2009 年 2 月 7 日に新宮市職業訓練センターで開催した講演会とパネルディスカッションを後援。

受託事業

「熊野地域文化検定」公式テキストの策定

田辺商工会議所からの委託事業。世界遺産登録 5 周年になる 2009 年に「熊野地域検定」を実施するため、和歌山県を中心とする熊野地域について自然、歴史、熊野信仰、美術工芸、民俗、産業・特産品、食文化、地域づくり、観光、人物等の各分野からまとめる。きのくに活性化センターは編集委員会に田辺市・田辺市教育委員会とともに参画。

那智勝浦町「マグロの町」観光実態調査

マグロ缶試作品開発事業を実施するにあたって勝浦産マグロを材料とした新しいマグロ缶の試作品にたいしターゲットを特定するため、2 月に勝浦産のマグロ缶詰について観光客 305 人にアンケート調査を実施し、男女別、年代別にたい

する関心・嗜好を把握し、那智勝浦町におけるマグロ缶試作品開発の方向性について検討、分析した。

**「すさみ町海来（みらい）づくり協議会」ふるさとづくり構想策定
アドバイザー業務（農山漁村地域力発掘支援モデル事業）**

「すさみ町海来（みらい）づくり協議会」が策定するふるさとづくり構想の策定において、住民・関係者のワークショップの実施や事業にかかるアドバイザーを派遣した。

協力事業

北山村が2008年11月に企画した「北山村資源調査」に協力

和歌山大学生が地域の「あるもの探し」の視点で1泊2日の日程でフィールドワークを行ない、ワークショップで報告した。

後援事業

きのくに収穫祭

和歌山県立情報交流センターBig・Uが11月1、2日に開催した秋の恒例行事U遊祭に企画協力するとともに収穫祭を開いた。

広報事業

地域住民による地域づくり研修会・学習会への出席

那智勝浦町 よみがえれ脇仲倶楽部、町屋をはじめ明治大正の建築物が残る仲ノ町。町並み再生・まちづくりに立ち上がった住民グループにたいする連携・協働事業。